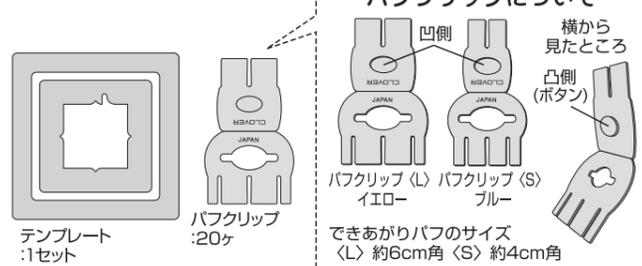


※この説明書は〈L〉〈S〉共通です。イラストは〈L〉で説明しています。 67-508 67-509

※セットに入っているもの※



○ 適している布

普通地~薄地のコットンやリネン(ブロード、シーチング、ダブルガーゼ、ワッフルなど)、薄地ウールなど
※サテン、きもの地など、やわらかくすべりの良い布は扱いが難しくなります。

✕ 適さない布

中厚地~厚地(デニム、帆布、オックスフォード、別珍、パイナルなど)、極薄地(オーガジー、ガーゼ、レースなど)、皮革および合成皮革、コーティング加工布など

用意するもの

・布地、わた(手芸用ポリエステル綿など)

	トップ布	ベース布	わた
L	13.4cm角	9cm角	約2~4g
S	10.4cm角	7cm角	約1~2g

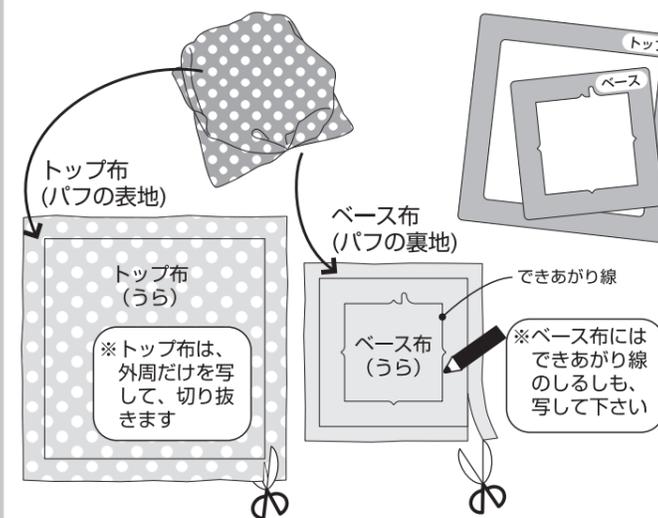
※わたの量は目安です。種類や詰め加減によって異なります。
※つぶ綿は適していません。

- ・待針
- ・片押さえ(ファスナー用押さえ金) ※ミシンを使う場合
- ・はさみ、ぬい針、ぬい糸
- ・鉛筆またはボールペン、チャコペル等
※布の裏面にしるしをつけるので、裏うつりしないもの

基本のパフの作り方

1 布の準備をします

テンプレートの外周で布地の裏側にしるしをつけ、カットします。



※テンプレートは角が丸くなっていますが、布の角は四角く切して下さい。

2 クリップでひだをたたみます

- 1 トップ布を中表にして半分折り、図のように中指と人差し指で挟んで持ちます。凸が上になるように開いたクリップを、もう片方の手で図のように持ちます。



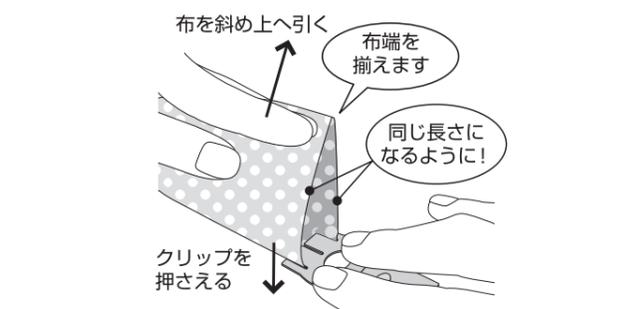
- 2 手前の布に、クリップ(穴のある側)の左端のスリットを差し込みます。



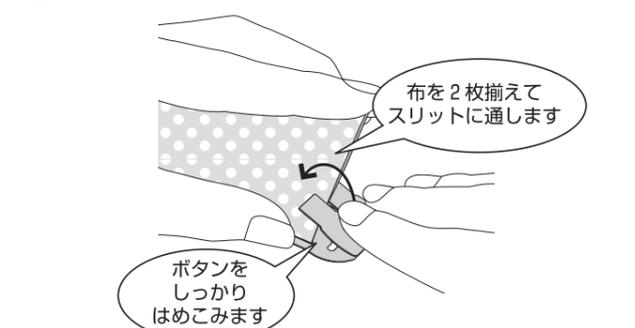
次に、奥の布を右端のスリットに差し込みます。



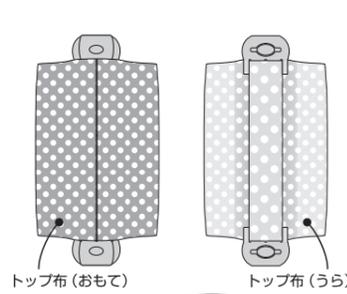
クリップを指で押さえて、軽く布を上へ引きます。(強く引きすぎるとスリットから布が外れるので注意して下さい)



反対側のクリップ(ボタンのある側)を起し、スリットに布を通します。ボタンがカチッと合まるまでしっかり押さえます。

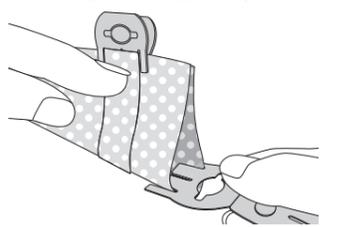


- 3 反対側も同じようにクリップをとめます。

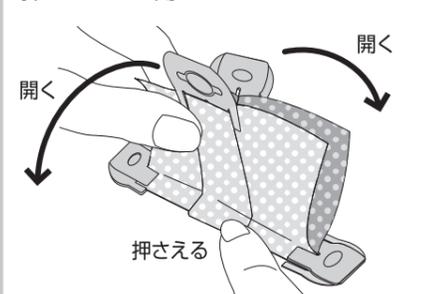


図のように布を開き、ひだに軽く折り目をつけます

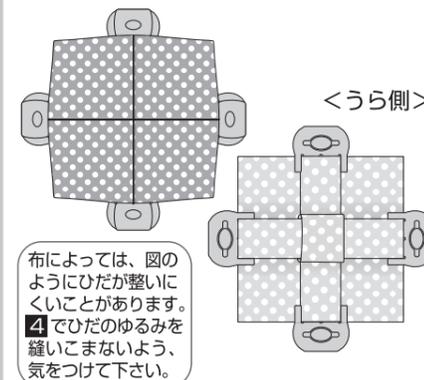
残り2ヶ所も同じようにクリップをとめます。



とめ終わったら、ひだが整うように指で押さえながら開きます。

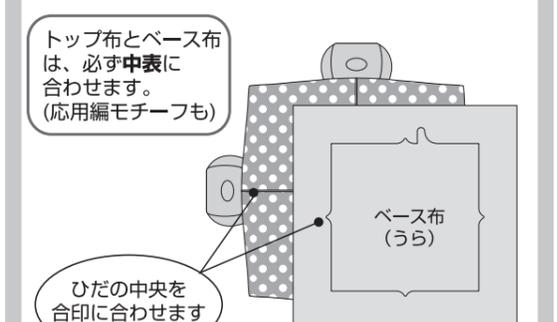


<おもて側>

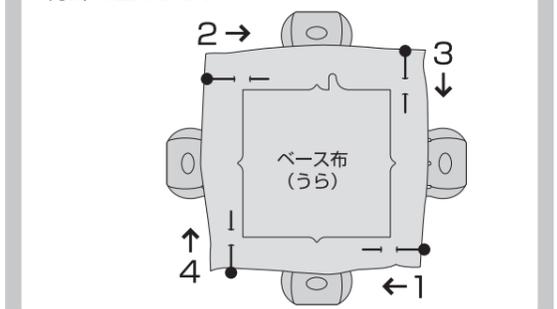


3 トップ布とベース布を合わせます

トップ布とベース布を中表に合わせます。

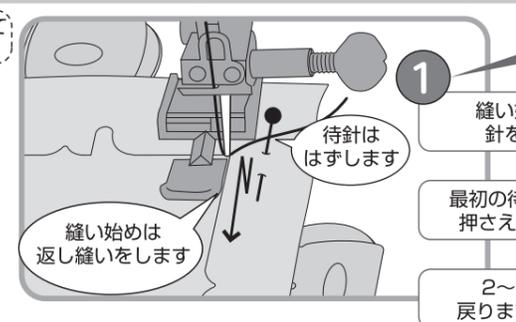
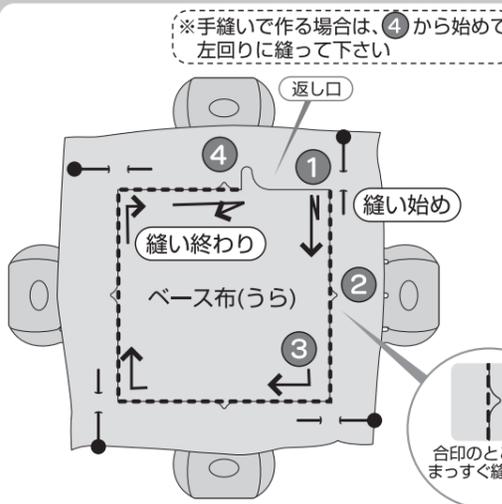


ぬいしろ部分を数字の順番に、図のように待針で止めます。

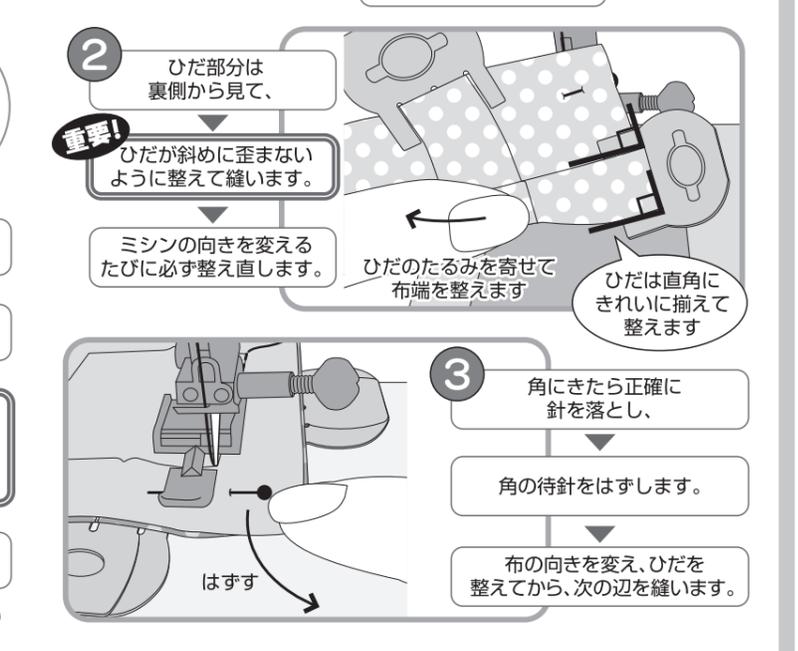
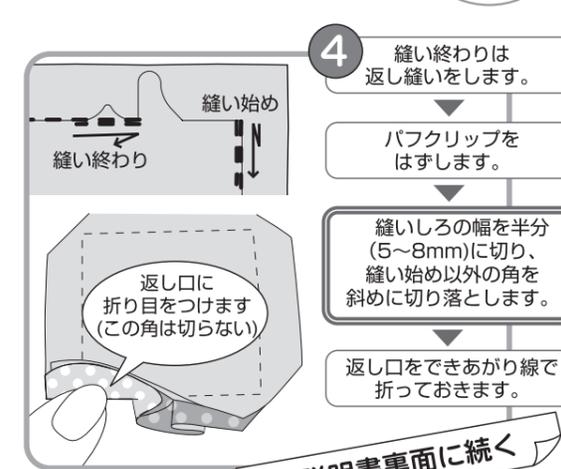


4 縫い合わせます

※手縫いでも作れます。(縫い始めと縫い終わりは返し縫い、その他はなみ縫い)
※〈S〉は角の縫い始めで押さえ金がクリップを踏むことがあります。注意して下さい。



重要! 必ず片押さえ(ファスナー押さえ)を使用し、低速でゆっくりと縫って下さい



※パフクリップを縫わないようご注意ください。ミシンの破損の原因となります。

説明書裏面に続く

5 裏返します

返し口からモチーフを裏返し、角を整えます。



目打ちなどを使って、角をきれいにしします

6 わたを詰めます

返し口からわたを詰めて、形を整えます。量はわたの種類や仕上がりの好みで調節して下さい。



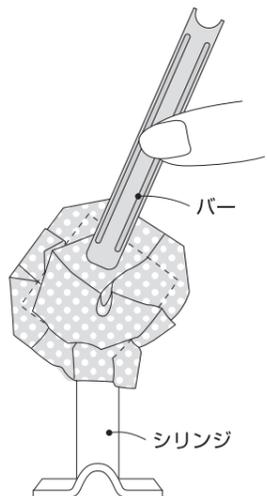
角にはわたが入らないように、中央部分を丸くふんわりと!

オススメ!

便利ツールのご紹介

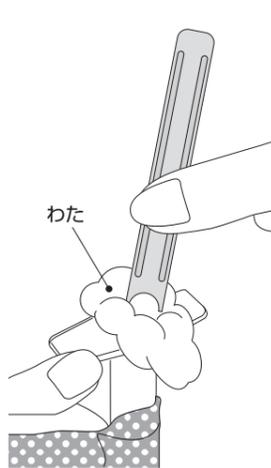
「ふんわりパフクリップ スターターセット」〈L〉〈S〉には、モチーフを裏返したり、わたを詰めるのにとっても便利なシリンジ&バーがセットされています。

*モチーフを裏返すとき



小さな返し口でもラクラク&スピーディー

*わたを詰めるとき

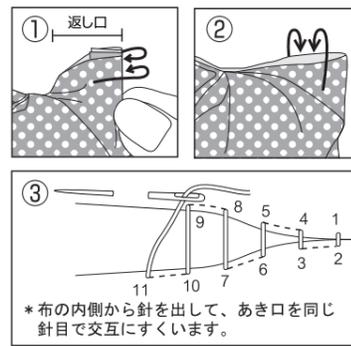


スイスイ入って爽快! しかも固まりになりにくくふんわりした仕上がり

一つで二役! 便利でカンタン、仕上がりきれいでしかもスピーディー!

※シリンジ&バーは〈L〉〈S〉でサイズが異なります。適応したサイズをお使い下さい。

7 返し口をとじます



- ① タテ方向の縫いしろを折り込みます。
- ② できあがり線で縫いしろを内側に折りこみます。
- ③ 手縫い(ラダーステッチ)で返し口をとじます。

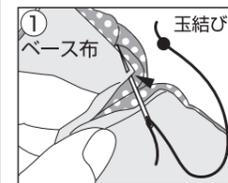
心をあがり!



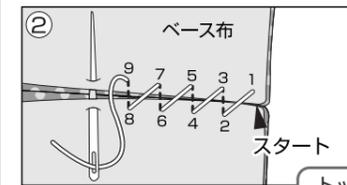
パフのつなぎかた

*基本のつなぎかた

つなげたいパフを合わせて、図のようにベース布側を上につまんで持ちます。

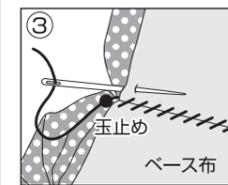


- ① 玉結びをして、角から縫い始めます。トップ布とベース布の間(◀)に針を入れ、ベース布から針を出して糸を引き、玉結びを隠します。



- ② ベース布をすくって、巻きかがりします。

*針は布地に対して垂直に刺します。縫い目は斜めに糸が渡ります。



- ③ 縫い終わりはトップ布とベース布の間に針を出して玉止めします。玉止めたすぐそばに針を入れ、少し離れたところから針を出して糸を引き、玉止めに隠して糸を切ります。

*たくさんつなぐ場合

- ① まず帯状につなぎます。
- ② 帯状につないだモチーフ同士を並べて縫いつなぎます。



角はクロスにしっかり縫います

※全体を見てモチーフの幅が合うように調節しながらつなぎましょう。

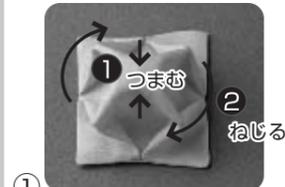
※バッグなど強度が必要な場合は、縫い目を細かくして、必要に応じて裏地をつけて下さい。

取扱上の注意

●ミシンを使用する場合は、本品(パフクリップ)を縫わないようにくれぐれも注意して下さい。ミシン及びミシン針の破損の原因となり、また、けがのおそれがあります。●高温により変形しますのでアイロンなどのご使用はお避け下さい。●極薄地、中厚~厚地、すべりのよい布、硬い布等には適していません。●過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となります。●長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管して下さい。●用途外のご使用はお避け下さい。

応用編 わたを詰めずに、ひだのアレンジを楽しむこともできます。

バラモチーフにする場合



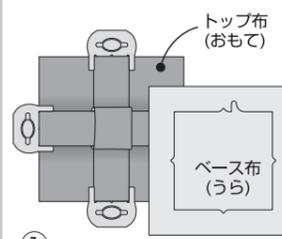
- ① 基本のパフの5まで作ったらひだの中央をつまんでねじり、バラの花のように整えます。



- ② 形が崩れないように、ひだを何ヶ所か止めます。玉結びをして、返し口から針を入れ、外側のひだと内側のひだが接しているところに針を出し、糸を引ます。

返し口をとじて完成です

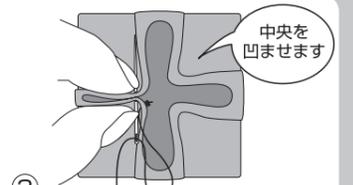
クロスモチーフにする場合



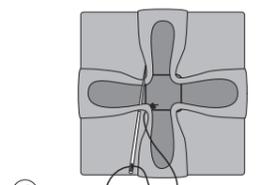
- ① トップ布のうら・おもてを逆にして、基本の1,2を作ります。3ではトップ布とベース布を中表に合わせます。



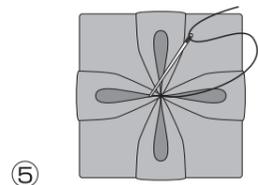
- ② 4,5を参考に縫い合わせ、おもてに返します。



- ③ 玉結びをして中央から針を入れ、ひだ山を縫いとめます。(ひだ山の上から2mm位の位置で)



- ④ 一周縫ったら、中心へ針を出します。(上から3~4mm位の位置へ)



- ⑤ 引き締めて玉止めをし、針をベース布側へ引き出して糸を切ります。

返し口をとじて完成です

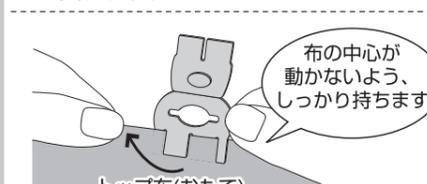
風車モチーフにする場合



- ① 基本のパフの1と同様に布を準備します。



- ② 手前側の布を右へ開き、右端のスリットに入れます。



- ③ 左の布を左端のスリットに入れます。

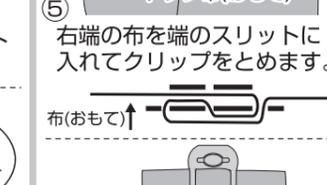
[真上から見たイメージ図]



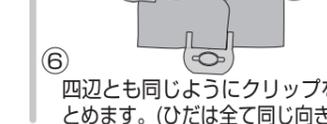
- ④ 布がずれないように注意しながらクリップを左へ倒します。



- ⑤ 右端の布を端のスリットに入れてクリップをとめます。



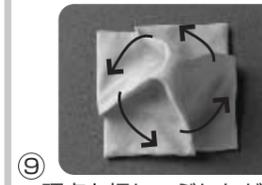
- ⑥ 四辺とも同じようにクリップをとめます。(ひだは全て同じ向き)



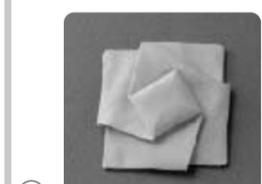
- ⑦ 基本の3~5と同様にベース布と縫い合わせて返します。



- ⑧ ひだを伸ばし、ピラミッド形にします。



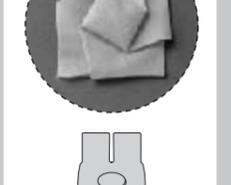
- ⑨ 頂点を押しつぶしながら、ひだを左回りに倒します。



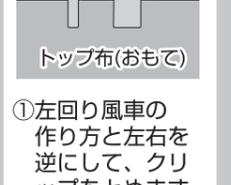
- ⑩ 頂点が正方形になるように整えて折り目をつけます。

返し口をとじて完成です

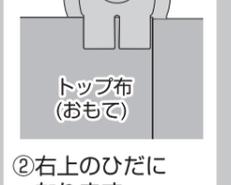
右回り風車にする場合



- ① 左回り風車の作り方と左右を逆にして、クリップをとめます。



- ② 右上のひだになります。



- ③ 頂点が正方形になるように整えて折り目をつけます。

返し口をとじて完成です

クローバー株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

070702